

共創プラン ~これが今年のしごとです~

第7次別海町総合計画 愛称「みんなで つなぐ 実りある ふるさと 共創プラン」

町民の皆さまと行政の間で情報を共有することを目的に、町が重点的に行う事業やぜひ活用していただきたい制度などを広報5月号から広報7月号にかけて紹介します。

今月は教育・建設・防災対策分野のしごとを紹介します。

※町の予算編成は千円単位で構成されていますが、本記事は万円単位で表記しているため、1万円の差異が生じていることがあります。

社会教育 の推進

学校・家庭・地域連携協力推進事業

438万円

別海型コミュニティ・スクールを推進するため、学校と地域団体の連携を支援するコーディネーターを各中学校区に配置します。

また、学年や家庭の状況にかかわらず、さまざまな子どもたちが放課後などの時間を過ごすことができる居場所づくりを進めるため、地域の方々との協働により、放課後子ども教室を開設します。

問合せ／生涯学習課 生涯学習担当 TEL75-2146

図書館整備事業

8,088万円

・図書館照明設備LED化改修工事

環境負担と電気料金の軽減のため、照明器具をLEDに改修する工事を実施します。

・図書館空調設備改修工事

館内が高湿多湿となることから、施設の利用環境と図書資料の保存状態を改善するため、空調設備の改修工事を実施します。

問合せ／図書館 業務担当 TEL75-2266

学校教育 の充実

コミュニティ・スクール推進事業

59万円

地域一体となった教育活動を進めるため、8中学校区の学校運営協議会を中心として、別海型コミュニティ・スクールの取り組みを推進します。

※「コミュニティ・スクール」

地域や保護者の方々が学校運営に参画することで、多くの地域住民が学校教育の当事者となり、学校を応援するとともに、地域の活性化を目指す学校づくりを進める仕組み。

問合せ／学校教育課 学校教育・適正化等担当（内線3714）

生きる力アッププロジェクト事業

301万円

ふるさと別海を支える人材を育む教育を進めるため「ふるさと教育の推進」「学びの土台づくりとなる読書活動の推進とNIEの取り組み」「教師力向上」に取り組みます。

「ふるさと教育の推進」「教師力向上」の取り組みとして、ふるさとキャリア教育の先進地である秋田県大館市へ教職員を派遣します。

また、読売新聞、こども新聞、北海道新聞やまなぶんの児童生徒への配布や、各学校の代表児童生徒が読んでほしい本をプレゼンテーションする「ビブリオバトル」の実施などを通じて「学びの土台づくり」を推進します。

※「NIE」

Newspaper in Educationの略。学校などで新聞を教材として活用すること。

問合せ／学校教育課 学校教育・適正化等担当（内線3714）



生きる力アッププロジェクト会議

北海道別海高等学校教育支援事業

5,476万円

町内唯一の高等学校である別海高等学校の普通科3学級の維持と酪農経営科生徒の増員につなげるため、別海高等学校を選択しやすい環境づくりを進めます。

■取組内容

• 寄宿施設等助成事業

別海高校の寄宿施設などを利用する生徒の保護者に対して、入居費の一部を助成します。また、別海高校の寄宿施設などを確保するため、設置者に対して、運営経費の一部を助成します。

• 通学費助成事業

別海高校にバスで通学している生徒のうち、主たる居住地の最寄りのバス停留所から別海高校前バス停留所までの距離が4km以上の生徒を対象に、バス通学費の9割（令和3年度時点で在籍している生徒は10割）を助成します。

• 教育振興会補助事業

別海高校の教育の振興発展を支援する北海道別海高等学校教育振興会の運営費を補助します。

• タブレット購入助成事業

令和4年度の新入生から、タブレット（学校指定機種）購入費用の6割を助成します。

• 外部指導者派遣事業

部活動の充実と活性化を図り、入学生徒の安定的な確保に寄与するため、別海高等学校に部活動の外部指導者を派遣します。

• 海外研修派遣費補助事業

視察や体験活動、交流を通じて国際感覚を身に付け、次代の地域指導者としての視野を広げるために海外研修を行う青少年に対して研修費を補助します。

• 部活動等派遣費補助事業

全道大会、全国大会、根室管内以外で行われる地区予選大会に出場する生徒や引率者への派遣費を補助します。（文化 200万円、スポーツ 350万円）

• 高校部活バス運行事業

放課後の部活動や諸活動を行う生徒の帰宅用バスを無償で運行します。

• 高校生健康検査事業

卒業後の生活習慣病予防を考える動機付けとして3年生を対象に健康診査を無料で実施します。

問合せ／学務・スポーツ課 総務担当（内線3611）



タブレットを活用する別海高校の生徒

Let's Challenge学習支援事業

326万円

子育て支援の充実（保護者負担の軽減）と町内児童生徒の自律的な学びを育成するため「漢字検定」「英語検定」「算数・数学検定」の検定料を助成します。

町内の小中学校に在籍する児童生徒を対象として、1種類につき1回まで、1人最大3種類の受検に対し助成します。

また、自宅学習の推進により学習意欲を培うことで、チャレンジ精神を向上させるため、小中学校の児童生徒に対しタブレット端末で行う学習ドリルを導入します。

問合せ／学校教育課 学校教育・適正化等担当（内線3714）

いじめ・不登校問題対策事業

873万円

町内在住の不登校児童生徒を対象に、集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的生活習慣の改善のための相談や適応指導などを行う教育支援センター「ふれあいるーむ」を開設し、自立や学校生活への復帰に向けた支援を行っており、令和2年度からは西部地区に「ふれあいるーむサテライト」を開設しています。

また「ふれあいるーむ」では、児童生徒の指導上のさまざまな課題について、臨床心理士やスクールソーシャルワーカーなどと連携し、児童生徒に社会福祉的視点から適切な教育の場を提供します。

問合せ／学校教育課 教育支援担当（内線3712）